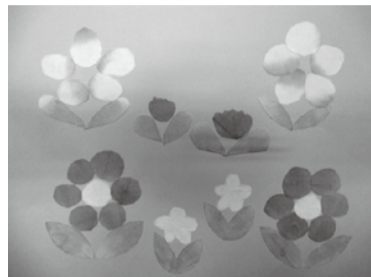


田無 **ロビー企画**
あめんぼ青年教室作品展

「あめんぼ青年教室」では知的に障がいのある青年たちが集い、語り合い、学び合い、自主性や社会性を養っています。「あめんぼ青年教室」の仲間が活動の中で作った作品展です。
時 1月14日(土)9時~20日(金)18時
場 田無公民館



芝久保 **ちいさな展示会**
篆刻作品展

芝久保公民館主催講座「篆刻のたのしみ」受講者と講師の作品を展示します。古代の書体の世界をお楽しみください。
時 1月12日(木)~1月26日(木)
場 芝久保公民館



保谷駅前 **映像から「今」を考える**
「抱擁」上映

監督・撮影・編集:坂口香津美/2014年/1時間33分/日本

家族、友人など、大切な人を喪うこと。そして老いるという逃られない現実。一人の女性がこの二つの厳かな現実と相まみえながら、どうやって生きていくかを、息子が撮影するカメラを通じて描くドキュメンタリー。

時 1月19日(木) 12時40分開場・13時上映
場 保谷駅前公民館
対 市内在住・在勤・在学者優先
定 50人(申込順)
申 1月4日(水)13時から電話かメールで保谷駅前公民館へ



芝久保 **子ども体験講座**
はじめよう!理科読 ~音の不思議を知ろう~

実験・工作で「音」を楽しみます。一冊の本から科学に親しみワクワク体験をしてみませんか?



時 10時~12時
場 芝久保公民館
対 市内在住の小学生
定 20人(申込多数の場合は抽選。保護者の見学参加も可)
講 土井美香子(NPO法人ガリレオ工房理事)
申 1月6日(金)12時までに電話かメールで芝久保公民館へ

回	月日	内容
1	1/14(土)	おもしろい科学の本を探す テーマ「音」1 ・本の読み聞かせ ・体験:音が振動であることを確かめる ・工作:いとでんわ、音ダンサー ・本の紹介
2	1/15(日)	おもしろい科学の本を探す テーマ「音」2 ・本の読み聞かせ ・体験:耳のはたらき。音の記憶を集める。効果音紙芝居 ・工作:ストロー笛、紙鉄砲 ・本の紹介

田無 **料理講座**
地域で楽しむ料理講座パート4
アディエネさんと作るベネズエラ料理

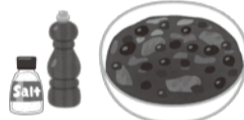
ベネズエラってどこにあるの?どんな国?市内在住のアディエネさんと一緒にベネズエラ料理を作りながら学びましょう。

時 2月4日(土)10時半~13時半
場 田無公民館
講 菱山アディエネ(ベネズエラ出身・西東京市在住)
対 市内在住・在勤・在学者
定 20人(申込順)
料 600円(材料費)
持 エプロン・三角巾・手拭きタオル・ふきん2枚



メニュー カチャパ(トウモロコシのパン)、豆のスープ、ベネズエラのプリン

申 1月10日(火)9時から電話で田無公民館へ



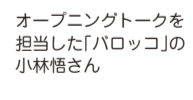
平成26年と27年に実施した講座「困難を生きる力に変えるヒント」では、いじめや不登校などの経験を経て今は支援者として活動している方などを講師に迎え、「甘えている、怠けている」と責めるばかりでは若者の生きづらさはなくならない」ということを学び合いました。その講座からできたサークル「パロッコ」のメンバーが、学びを地域に還元したいの思いもあって、今回の講座の企画に参加し、講師の推薦とオープニングトークを担当しました。

講座は「場づくり」に26年かかっているという講師から、「自分が必要だと思う、場」は自分で作れるんだよ」と背中を押してもらったことから始まりました。「ナラティブ・アプローチ」という語り合いの手法があることを学び、安心・安全で話しやすい場をつくるために、「批判モード」でもなく「反省モード」でもなく「研究モード」で語り合うという体験もしました。

講座終了後、「場づくり」の実践として「カフェパロッコ」をブレオオープン。6人の方がカフェを訪れてくれました。カフェを訪れてくれた方に心休まるひと時を過ごしてもらおうと、ギターの生演奏やゲームコーナー、「ゼロ円均一」などを用意しました。初めての接客



第6回講師 市川あつこさん



オープニングトークを担当した「パロッコ」の小林悟さん



第3回講師 小山裕子さん

講座報告

保谷駅前公民館
地域課題を考える講座
「困難を抱える若者を支える場をつくろう」

分で作れるんだよ」と背中を押してもらったことから始まりました。「ナラティブ・アプローチ」という語り合いの手法があることを学び、安心・安全で話しやすい場をつくるために、「批判モード」でもなく「反省モード」でもなく「研究モード」で語り合うという体験もしました。

公民館で保育室を利用しながら学習してみませんか
 平成29年度学習支援保育の申請を受け付けます

申請するには

- 申込締切日 1月20日(金)
- 希望するグループは、1月20日(金)までに活動を希望する公民館事務室へ直接申し込んでください。その時に活動内容等もお伝えください。担当者が活動内容を確認した上で、必要書類を提出していただきます。
- 必要書類提出期限 2月28日(火)17時

学習支援保育の対象・内容

学習支援保育は、毎月継続的に公民館で学習活動を行っている、公民館事業の趣旨に則った市民グループが対象です。

平日の午前中の2時間、生後6か月以上の未就学児を3人以上から保育します。定員は15人(柳沢公民館のみ18人)です。一人で複数の学習支援保育を受けることはできません。

公民館保育室とは?

柳沢・田無・芝久保・谷戸

ひばりが丘公民館には、「公民館保育室」があります。乳幼児を育てている市民が学習に参加できるように設けられ、その学習活動の間、公民館保育員が保育します。乳幼児の一時預かり所ではなく、公民館学習活動の一環として運営しています。

保護者が学習に参加し、共に学び社会の一員として成長していくこと、また乳幼児も人とのかわりの中で育ち合うことを目的としています。

公民館保育室は市民参加の運営を心がけているため、学習支援保育を利用するグループは、定期的に行う保育室運営会議に主体的に参加して保育室・学習支援保育のより良い運営について一緒に考えていただきます。

その他、詳細は各館へお問い合わせください。

メールでの講座申込方法

アドレス: 1面参照
 件名: 講座名
 本文: 氏名・電話番号・住所・年代
 ※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

この本は、避難所生活の実態を描いた小説です。

物語は、3人の女性(福子、渚、遠乃)の視点から東日本大震災被災後、どのように避難所生活を送ったのか、人生の再出発への新たな一歩を歩んだのか、という内容です。

避難所で、女性などの弱者に負担を強いたり、高齢男性のリーダーの独裁的な運営が行われたり、などのリアリティーある描写が目につきます。「絆」という美しい言葉の裏に隠れた厳しい現実が打ちひしがれながらも、避難所で努力奮闘する3人の女性の姿が描かれています。

物語の舞台は、その後、仮設住宅に移動しますが、3人も地元の仕事が無く、就職活動のために一緒に上京します。厳しい現実を突きつけられながらも最後、希望が見えたところで物語は終わります。

この本を読んだ後、公民館主催講座の避難所運営ゲームに参加しました。ゲームではパニックに陥り、慌てふためきました。ほろ苦い経験ですが体験して良かったです。

避難所

『避難所』 (垣谷美雨著、新潮社刊)

かおる Caoru (南町在住)